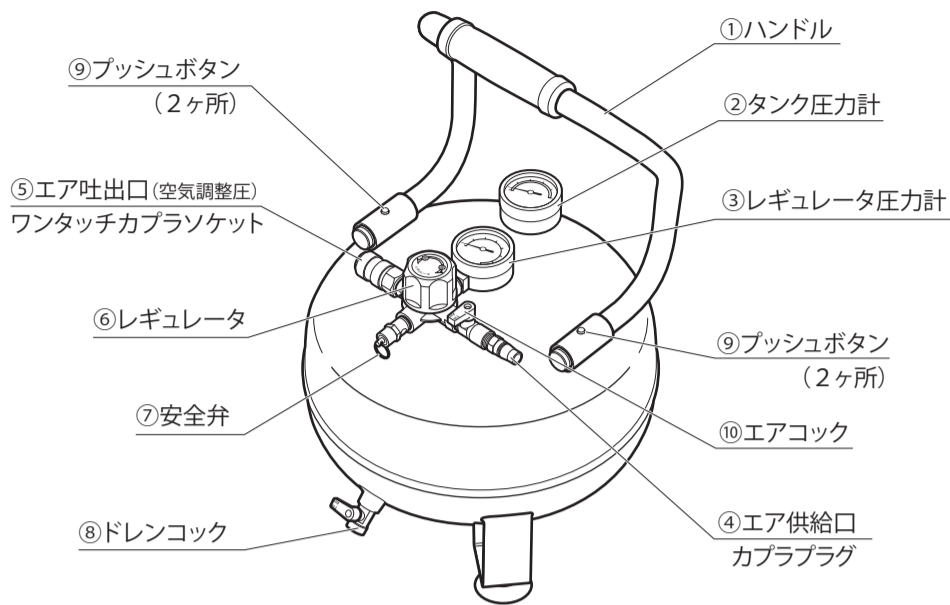


スペアタンク

取扱説明書

本体各部の名称および付属品



各部の名称と機能

- ①ハンドル……………本機移動の際に使用します。
- ②タンク圧力計……………スペアタンク内の圧力を示します。
- ③レギュレータ圧力計……………エア吐出口の吐出圧力を示します。
- ④エア供給口……………エアコンプレッサからのホースを接続しエアを供給します。
- ⑤エア吐出口(空気調整圧)……………レギュレータにより調整されたエアが吐出されます。
- ⑥レギュレータ……………エア吐出口の吐出圧力を調整します。
- ⑦安全弁……………タンク内が異常高圧となった場合に、タンク内を減圧します。
- ⑧ドレンコック……………使用后、ドレン(水)やエアを抜きます。
- ⑨プッシュボタン……………ハンドルの取り付け、取り外しの際に使用します。
- ⑩エアコック……………エア供給口の開閉に使用します。

外観、仕様などは製品改良のため、一部変更することがありますのでご了承ください。

発売元 **株式会社パオック**

安全にご使用いただくために

安全作業上、事故を未然に防ぐため、次に述べる注意事項をよくお読みの上、指示に従ってください。
本取扱説明書の注意事項は「△警告」、「△注意」に区分されています。

- 警告** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
- 注意** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容を示しています。

ご使用前に次の注意事項をよくお読みになって正しくお使いください。

- 警告** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
- 1. エアツールを使用する際には、各エアツールの取扱説明書をよく読み、理解してから作業を行う。各エアツールによって取り扱いが異なります。取り扱いを誤ると、思わぬ事故やけがの原因となり危険です。
- 2. エアホースの切断・加工はしない。
エアホースの切断・加工は危険ですので、絶対にしないでください。
- 3. エアホースにひび割れ、変色、穴あき等の異常が見つかった場合は、使用しない。
そのまま使用すると、故障や事故の原因になります。
- 4. 各部のボルトやねじにゆるみがないことを確認する。
故障や事故の原因になります。
- 5. 圧縮空気とドレンを抜く場合、顔をエアコック及びドレンコック付近に近づけない。
圧縮空気の排出によって失明やけがをする恐れがあり危険です。
- 6. エアコンプレッサやエアツールとの接続箇所を確認する。
確実に接続されていないと、エア漏れを起こし、作業能力の低下を招いたり、使用中にエアホースが外れ、思わぬ事故の原因になります。
- 7. 接続ホースを外す際は、接続カブラをしっかり保持する。
ホース内に残っている残圧による反動で、思わぬ事故やけがの原因になります。
- 8. 指定用途以外及び能力を超えての使用はしない。
- 9. 分解・改造は行わない。
事故やけが、故障の原因となります。
- 10. 本機は大切に取り扱い。
誤って落としたり、ぶつけたり、極端な衝撃を与えると故障の原因となるだけでなく、思わぬ事故の原因となり危険です。

この度は **PA[®]CK** スペアタンクをお買い求めいただきありがとうございます。
いつまでも安全にお使いいただくため、ご使用前に取扱説明書をよくお読みいただき、取扱上の注意事項、本機の特長、能力、使い方などを十分理解された上でご使用くださいますようお願い申し上げます。

用途・特長

- ・エアコンプレッサで圧縮されたエアを一時的に貯蔵することで安定したエアを供給するとともに、使用するエアツールの使用可能時間を伸ばすことができます。
- ・エアコンプレッサと離れた場所にもタンクごと持ち運べます。
- ・ポータブルインフレーター(タイヤの空気入れ)として便利です。

もくじ

- 本体各部の名称および付属品 …… 1
- 仕様 …… 2
- 安全にご使用いただくために …… 3
 - △警告 …… 3
 - △注意 …… 4
- ご使用前の準備 …… 4
 - ・ハンドルの取り付け …… 4
- 使用方法 …… 5~6
 - ・エアコンプレッサとの接続方法 …… 5
 - ・レギュレータについて …… 5
 - ・接続エアホースの取り外し …… 6
- その他 …… 7
 - ・エア圧力単位換算表 …… 7
 - ・タイヤ空気圧目安表 …… 7
- 保守と点検 …… 8
- 修理の際は …… 8

仕様

| | | | |
|--------|--------|-------|--|
| 型 式 | ST-8PA | サイズ | 約W300×L300×H310mm (ハンドルを含む:約H460mm) |
| タンク容量 | 8L | 質量 | 約7kg |
| 最高使用圧力 | 1.0MPa | 空気接続口 | エア供給口:カブラプラグ エア吐出口:ワンタッチカプラソケット |

注意

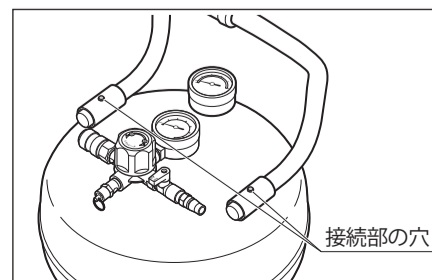
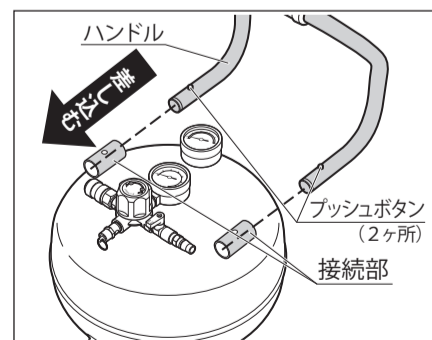
この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容を示しています。

1. 下記の条件を満たす場所で使用する。
 - 雨や水などがかからない、乾燥した場所
 - 可燃性のガスや液体、揮発性可燃物や火気が近くに無い場所
 - 足場が水平で、安定している場所
 - 十分明るく、ゴミやホコリの無い片付いた場所
 - 子どもや、使用者以外が近づかない場所
 上記に反する場所での使用は、火災や感電、爆発などの重大な事故や、けがの原因となります。
2. 空気圧力は1.0MPa以下で使用する。
1.0MPaを超えた圧力で使用すると、本機が破損する恐れがあります。
3. 作業周辺の物や接続機器などの転倒防止のため、ホースは余裕をもった状態で使用する。
4. 使用后や、保管、点検の際は必ずエアコンプレッサやエアツールなどの接続を解除する。
ホース内に残っている残圧による反動で、思わぬ事故やけがの原因になります。
5. エアツールなどを接続したままでの移動はしない。
事故やけが、故障の原因となります。
6. 使用後は、毎回必ずタンク内の圧縮空気及び、ドレン(水)を全て抜く。
ドレンを抜かないとエアタンク内にサビが発生し、エアタンクの寿命を縮める原因となります。

ご使用前の準備

ハンドルの取り付け

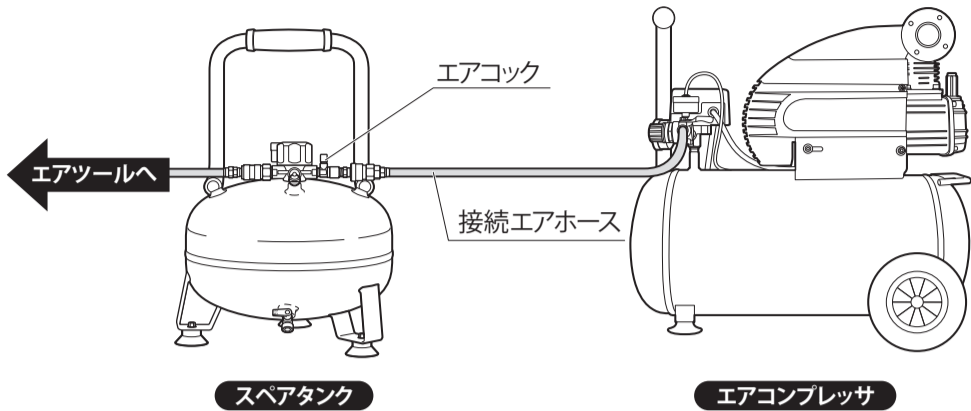
1. ハンドルの両端を本体の接続部に挿入します。
ハンドルのプッシュボタン(2ヶ所)を押しながら、さらに奥に差し込みます。
2. 接続部の穴からプッシュボタンが出てくるまで、確実に差し込んでください。
※カチッと音が鳴るまで差し込んでください。



エアコンプレッサとの接続方法

警告 本体のカプラプラグに傷やヒビ等の異常が見つかった場合は、使用しないでください。

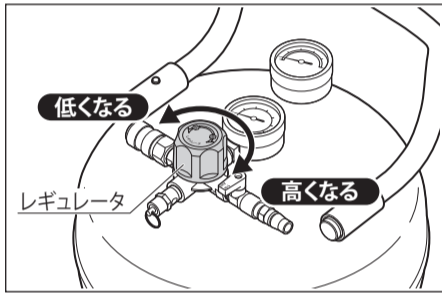
注意 カプラプラグとソケットは確実に接続してください。確実に接続していないと、接続部から外れ、事故や故障、けがの原因になり、危険です。



1. エアコンプレッサのエア吐出口と、スペアタンクのエア供給口の両方のエアコックが閉じているのを確認してから、接続ホースで確実に接続してください。
※接続ホースは耐圧 1.0MPa以上のホースをご使用ください。
2. 接続エアホースが確実に接続されているのを確認し、エアコンプレッサのエア吐出口と、スペアタンクのエア供給口の両方のエアコックを開いてください。
3. 空気が充填され、コンプレッサの圧力スイッチが停止したら、使用するエアツールに合わせ、スペアタンクのレギュレータで空気圧力の調整を行ってください。

●レギュレータについて

レギュレータは、吐出される圧縮空気の圧力を調整します。
エアツールにはいろいろな種類がありますので、必ず使用するエアツールに応じ、指定された使用空気圧力の範囲内でご使用ください。
◎右に回す・・・吐出圧力が高くなる
◎左に回す・・・吐出圧力が低くなる



その他

●エア圧力単位換算表

| kgf/cm ² | kPa 【キロパスカル】 | MPa 【メガパスカル】 | bar 【バール】 | psi 【ピーエスアイ】 |
|---------------------|-----------------|-----------------|--------------|-----------------|
| 1 | 98 | 0.098 | 0.981 | 14.223 |
| 10.2 | 1000 | 1 | 10 | 145 |

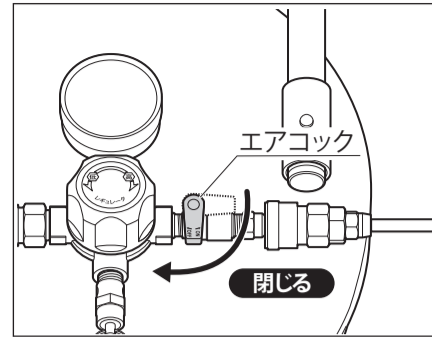
●タイヤ空気圧目安表(参考値)

| 車種 | 適正空気圧 |
|--------|------------|
| 軽・乗用車 | 180～240kPa |
| 2tトラック | 480～520kPa |
| 4tトラック | 680～720kPa |
| 大型トラック | 820～860kPa |

※タイヤの適正空気圧は、車種により異なります。
ご使用になるタイヤの適正空気圧に従い調整してください。
自動車の適正空気圧はドア付近の表示、マニュアルにてご確認ください。
※スペアタンクのレギュレータによる吐出空気圧調整は、多少の誤差が生じます。
タイヤ調整にはエアプレッシャーゲージのご使用を推奨します。

接続エアホースの取り外し

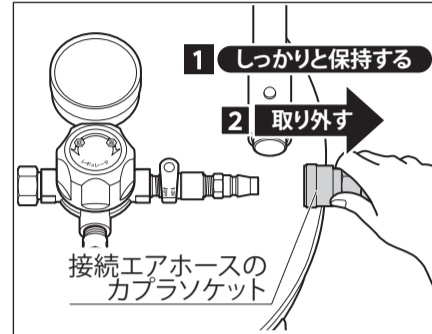
1. エアコンプレッサのエア吐出口と、スペアタンクのエア供給口の両方のエアコックを閉じます。



注意 スペアタンクのエアコックを開いたまま接続エアホースを外すと、エアが流出するうえ、事故やけがの原因になり、危険です。

2. 接続エアホースのカプラソケットを手でしっかりと保持し、取り外してください。

※再度、エアコンプレッサと接続するときは、**5**の「エアコンプレッサとの接続方法」の手順に沿って行ってください。



注意 ホース内の残圧により、エアホースがボンッと勢い良く外れ、危険です。
エアホースをしっかりと保持して取り外してください。

注意 エアホースを強く引っ張らないでください。抜けたり、破損する恐れがあり、危険です。

保守と点検

警告 お手入れや点検の場合は、必ずエアコンプレッサやエアツール等の接続を解除してください。事故やけがの原因になります。

- 作業後のお手入れ
 - ・スペアタンクの性能を維持するために、清掃・点検を定期的に行ってください。
 - ・使用後はドレンコックをゆるめ、エアタンク内の空気及びドレン(水)を完全に抜いてください。
- 各部の点検
 - ・各部取り付けねじは定期的に点検し、ゆるんでいたら締め直してください。そのまま使用すると危険です。
 - ・タンクにひびや割れ、凹みなどの異常が無いか、定期的に点検してください。異常が見つかった場合は、使用しないでください。
- 保管について
 - 使用しない場合はきちんと保管してください。また、次の場所には保管しないでください。
 - 軒先などの雨がかったり、湿気のある場所
 - お子様の手の届いたり、持ち出せる場所
 - 直射日光の当たる場所

修理の際は

- 正常に作動しない場合や、不明な点がございましたらお買い上げの販売店または、発売元までご連絡ください。
- お問い合わせや、ご連絡が無いまま直接発売元に修理品などを送付されても処理、対応ができない場合がありますのでご了承ください。